

# たくさん利用されている人気動画をさがそう

- 大規模メディアデータのリンク構造解析 -

## どんな研究？

- ネット上の動画ファイルや放送のストリームデータから収集した膨大なメディアデータの中から、利用頻度の高い人気のコンテンツを見つけるための検索技術です。
- 音や映像の探索に基づいて、同一信号の利用頻度を計算します。

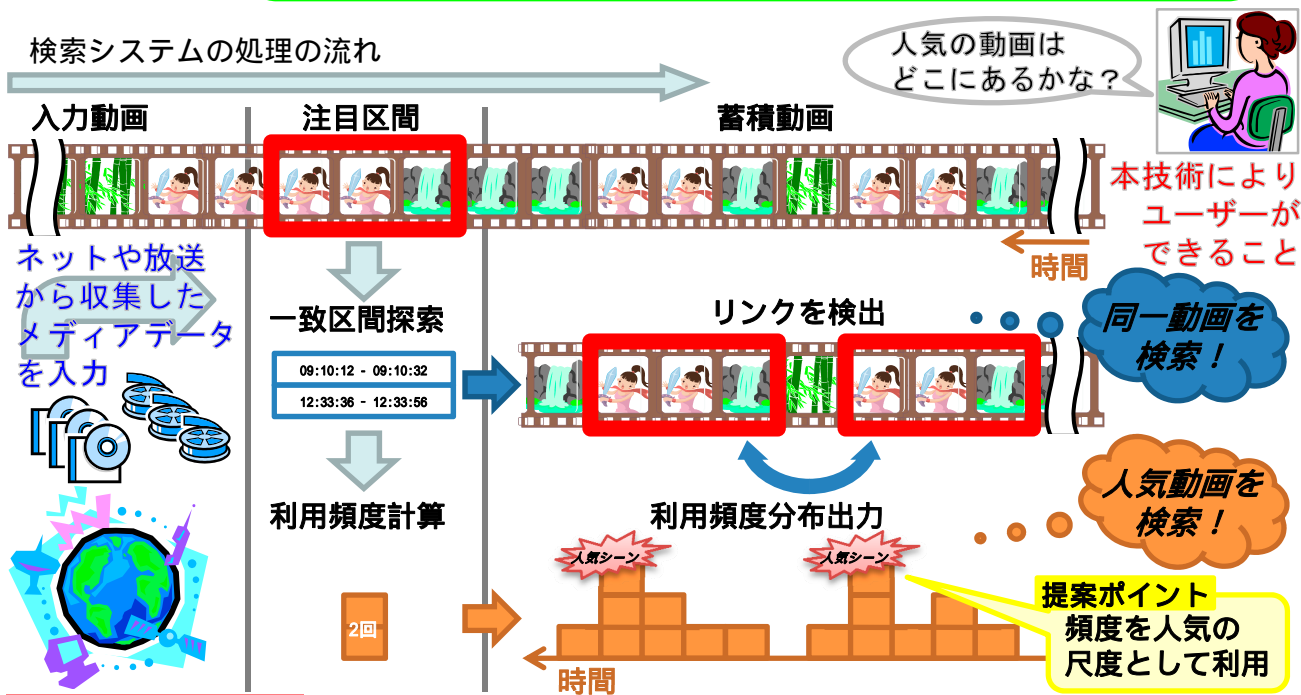
## もたらされる変革

- 利用頻度の高いコンテンツは、注目度が高く興味をひくものであると考えられます。
- これを提示したりナビゲーションに利用したりすることで、ネット上のメディアコンテンツの楽しみ方が進化すると考えられます。

## 利用頻度の計算

動画ファイルやストリームデータなどを入力  
 入力動画に注目区間を設定し蓄積動画の中から同一内容の区間を探索、  
 検出されれば、注目区間と同一内容の区間の対をリンクとして保存  
 検出したリンク数を投票しヒストグラムとして利用頻度分布を計算

### 検索システムの処理の流れ



## 本技術のメリット

- 事前にテキストによるメタデータを必要としない
- リアルタイムに利用頻度を計算できる
- 人気シーンを含むコンテンツのリストアップが可能



### 関連文献

黒住 隆行, 永野 秀尚, 柏野 邦夫, “実環境で収録された映像断片をキーとする一致映像探索”, 電子情報通信学会 論文誌 D-II, VOL.J90-D, No.8, pp.2223-2231, Aug. 2007.

連絡先: 黒住隆行 (Takayuki Kurozumi)  
 メディア情報研究部 メディア認識研究グループ